



# 活用推進 ミーティング通信

発行2020(令和2)年11月  
世田谷区北沢総合支所地域振興課生涯学習施設

第  
8号

## 施設運営のための組織づくりや利用ルールの検討開始

2020年10月11日(日)10時~12時まで、代沢まちづくりセンター活動フロアで、第3回(仮称)花見堂複合施設活用推進ミーティングを開催しました。

前半は主に、

- ① 花見堂複合施設施設運営組織規約(案)
- ② 細則に定める内容のイメージ

の2点について話し合いました。子ども連れで初めての参加者もいて、賑やかで活発な意見交換になりました。

後半は、樹木活用の専門家「街の木ものづくりネットワーク」の湧口善之さんから、樹木を活用する意味や具体的なアイデアとして、代田南児童館・地区会館で予定しているワークショップの案について説明していただきました。

次回は、模型を使ってフリースペース利用のイメージづくりや伐採樹木の確認、11月21日には代田南児童館の前庭で「木を活かそうワークショップ」を実施します。ふるってご参加ください。

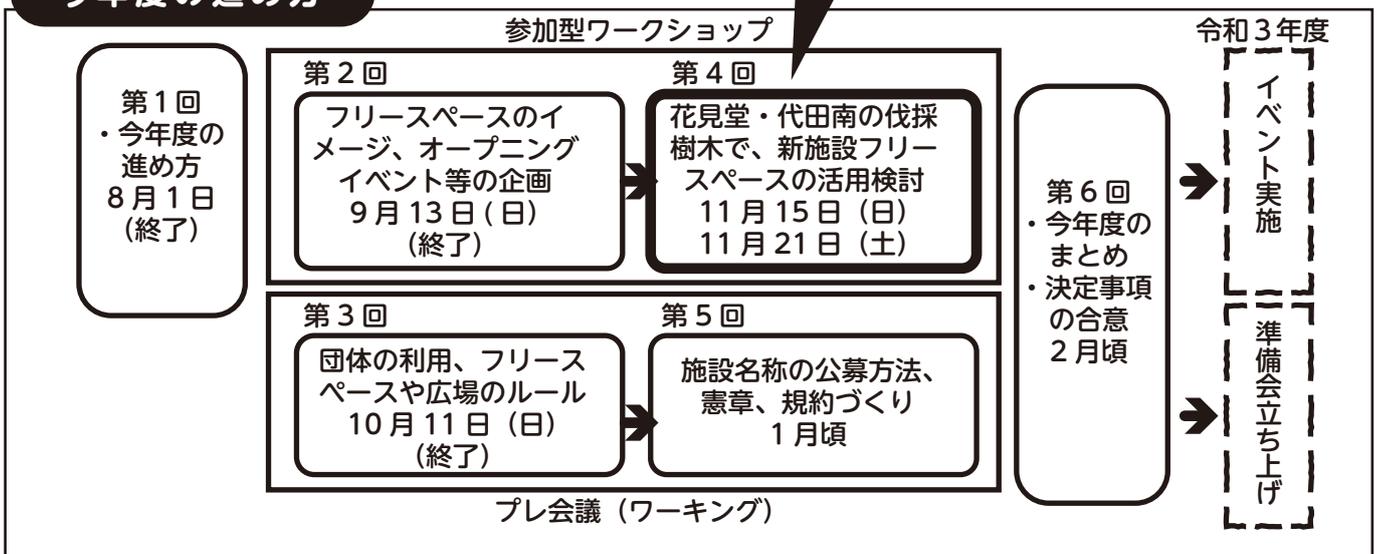


第3回参加者数  
地域の方19名+  
子ども4名、区職員5名、事務局4名 計32名



次回第4回会場:  
代田南児童館・地区会館

### 今年度の進め方



### 第4回ミーティング

- 樹木観察、意見交換 11月15日(日)10時~12時 会場 代田南地区会館(代田1-21-11)
- 樹木伐採イベント 11月21日(土)10時~12時 会場 代田南児童館(代田1-21-11)

問い合わせ先

世田谷区北沢総合支所地域振興課

電話 03-5478-8045 メールアドレス SEA02205@mb.city.setagaya.tokyo.jp

# ミーティングでの質疑応答と主な意見

## <規約、細則について>

### ■目的や運営

Q 規約には、「若い世代、小中学生、高校生、子どもたち」など役員としてかかわってほしいということを書けないか。

A 目的や運営の方針の中で表現できないか検討する。

### ■事業

Q 役割、経費はどのように捻出する予定か。

A まもりやまテラスの例では、たとえば HP の運営については、区から広報の業務委託をしている。具体的な会の活動内容が決まってから検討する必要がある。

### ■会員

Q 避難所運営に関わる団体もメンバーに入れてはどうか。

A 避難所運営組織とは訓練時などの協力関係は重要。ただし、日常の複合施設の運営とは別に考える必要がある。

→避難所運営の側で複合施設への関わり方を検討した方が良いのではないか。

### ■総会

Q 議決権（出席者数、委任状の扱いなど）を決めておく必要がある。

A 詳細は今後検討する。

### ■会費

Q 年会費と施設の使用料の関係はどのように考えているか。

A 地域コミュニティを活性化するための自主的な活動には最小限の資金が必要である。施設管理に関するものは区が負担する。他の施設と同じく部屋の利用料金をお支払いいただき、施設の維持管理に充てるのが基本となるが、花見堂複合施設の設立目的を考えると、会の活動に関する利用についても一律利用料金を徴収するかは（区として）検討する必要がある。

## <施設の利用イメージについて>

### ■地域の部屋について

Q 避難所運営の資料や物資を置けないか。

A スペースがないので、水や保存食などの物資を地域の部屋に置くことはできない。避難所開設時に必要な書類などは、今後複合施設の運営組織や避難所運営組織で検討する必要がある。

### ■フリースペースの利用について

Q 自習コーナーをつくりたい。IT 環境の整備が必要。子どもたちの学習の場とするために Wifi 環境が今後必要になるのではないか。

A 現時点では、予算上困難である。維持管理にも経費がかかる。

→区が正式に管理するのが困難であれば、運営の中で自主的にモバイル Wifi を設置するなら、自分たちでもできるかもしれない。

Q カフェタイムの時間があるとよい。人が来ないと寂しい。楽しい雰囲気はどうつくるか。

A 軽い食事ができたり、限定的にアルコールも可の時間帯をつくることも検討してはどうかと考えている。

→絶対にダメ、というような厳しいものは良くないが、ルールをしっかり決めないといけない。子ども（特に中高生）がいる時間はどうするのか、使用後の清掃やマナーなど、活動の責任者がきちんと管理をするようにしなければならない。